名古屋大学（東山）ＲＩ実験施設新営その他工事	756,378	304,133	452,244
名古屋大学（東山）ＲＩ実験施設新営その他機械設備工事	524,599	335,599	189,000
名古屋大学（医病）最先端医療機能強化拠点施設新営工事	3,332,880	1,098,355	2,234,524
（東山）実験研究棟（工学系）新営その他工事	981,720	590,405	391,314
（東山）実験研究棟（工学系）新営その他機械設備工事	586,440	478,221	108,218
名古屋大学医学部附属病院病棟等ＥＳＣＯ事業㈱	3,224,595	830,584	2,394,011
名古屋大学（医病）患者用立体駐車場新営その他工事	668,660	401,196	267,464

㈱　名古屋大学医学部附属病院病棟等ＥＳＣＯ事業は、本学が承認した「包括的エネルギー管理計画書」に基づく省エネルギー及び省コストを実現するため、ＥＳＣＯ事業者による提供、並びに既存設備とＥＳＣＯ設備のＥＳＣＯ事業者による設備管理業務の実施にあたり、両者各々の義務と責任を定め契約を締結したものです。

なお、契約済額は平成28年度時点での総支払予定額を記載しており、平成29年度以降支出予定額は、当該事業年度のエネルギー実削減額により変動する場合があります。

Ⅷ．減損会計関係

１．減損を認識した固定資産

①　減損を認識した固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要　（単位：千円）

用途	種類	場所	帳簿価額
電気設備	建物	工学部・工学研究科　赤崎記念研究館（愛知県名古屋市千種区不老町）	1,282
研究施設	建物	事務局　共同教育研究施設２号館等（愛知県名古屋市千種区不老町）	182,760
研究施設	建物	未来材料・システム研究所　共同教育研究施設第１実験棟（愛知県名古屋市千種区不老町）	18,156
冷暖房設備	建物	医学部附属病院　中央診療棟（愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65）	18,814
冷暖房設備	建物	工学部・工学研究科　Ｖ・Ｂ・Ｌ棟（愛知県名古屋市千種区不老町）	472
駐車場	構築物	医学部附属病院　立体駐車場（愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65）	1,280
電気設備	建物	事務局　総合研究実験棟（愛知県名古屋市千種区不老町）	513
通信設備	建物	環境学研究科　瑞浪地震観測点（岐阜県瑞浪市明世町大字大狭間２の３）	276

②　減損の認識に至った経緯

固定資産の全部又は一部につき、使用しないという決定を行ったため、減損を認識しました。

③　減損額のうち損益計算書に計上した金額と計上していない金額の主要な固定資産ごとの内訳

（単位：千円）

場所	種類	減損額	うち損益計算書に計上した金額	うち損益計算書に計上していない金額
工学部・工学研究科赤崎記念研究館	建物	1,282	—	1,282
事務局共同教育研究施設２号館等	建物	182,760	—	182,760
未来材料・システム研究所共同教育研究施設第１実験棟	建物	18,156	—	18,156
医学部附属病院中央診療棟	建物	18,814	17,822	992
工学部・工学研究科Ｖ・Ｂ・Ｌ棟	建物	472	—	472
医学部附属病院立体駐車場	構築物	1,280	1,280	—
事務局総合研究実験棟	建物	513	—	513
環境学研究科瑞浪地震観測点	建物	276	—	276

④　減損の兆候の有無について、複数の固定資産を一体として判定した場合の当該資産の概要及び当該資産が一体としてそのサービスを提供するものと認めた理由

共同教育研究施設２号館等、共同教育研究施設第１実験棟については、当該建物とこれに附属する設備は一体となってそのサービスを提供するため、これらを一体として判定しております。

⑤　回収可能サービス価額の算定方法

全ての施設及び設備については取り壊しが予定されていることから、回収可能サービス価額は、使用価値相当額（０円）により算定しています。

２．減損の兆候が認められた固定資産（減損を認識した場合を除く）

①　減損の兆候が認められた固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要

（単位：千円）

用途	種類	場所	帳簿価額
福利厚生施設跡地	土地	高原気候医学研究所　蓼科「山の家」（長野県茅野市北山4035）	17,700